

## の ほうだい 飲み放題

先日、ある国にいる友だちと連絡をとりました。彼女は、数年前、日本に住んでいました。彼女はいつも「早くまた日本に行きたい」と言っています。わたしは彼女に、「日本の何が、いちばん恋しい？」と聞きました。彼女はすぐに「飲み放題！」と答えました。「飲み放題」は、居酒屋やカラオケ屋がやっているサービスの一つです。一定の金額を払えば、一定の時間、好きなだけ飲み物を注文することができます。

例えば、ある居酒屋では、1,500円払えば、2時間、好きなだけ飲み物を注文することができます。想像してみてください。あなたはその居酒屋に入りました。お店の人があなたに聞きます。

「飲み放題にしますか？ 単品にしますか？」



「<sup>たんびん</sup>単品」<sup>ちゅうもん</sup>というのは、<sup>かね</sup>注文した<sup>はら</sup>ぶんだけ<sup>た</sup>お金を払う<sup>と</sup>ということです。例えば、  
<sup>いっばい</sup>1杯<sup>えん</sup>400円の<sup>はい</sup>ビールを<sup>えん</sup>3杯<sup>はら</sup>飲んだら、<sup>えん</sup>1,200円払います。

もし、あなたが(わたしの<sup>ず</sup>ように)ビール好きで、<sup>じかん</sup>2時間<sup>の</sup>でたくさん飲<sup>み</sup>むなら、  
「<sup>の</sup>飲み<sup>ほうだい</sup>放題」<sup>ねが</sup>をお願いした<sup>とく</sup>ほうが得<sup>の</sup>です。でももし、あまり飲<sup>み</sup>まないなら、<sup>みせ</sup>お店  
<sup>ひと</sup>の人に「<sup>たんびん</sup>単品<sup>ねが</sup>で<sup>い</sup>お願いします」と<sup>い</sup>言ったほうが<sup>い</sup>いいでしょう。

わたしは<sup>だいす</sup>ビールが大好き<sup>の</sup>なので、<sup>じかん</sup>2時間<sup>はい</sup>で8杯<sup>の</sup>くらい飲<sup>み</sup>ます。もし、「<sup>たんびん</sup>単品」  
<sup>ねが</sup>で<sup>えん</sup>お願いしたら、<sup>えん</sup>400円 × <sup>はい</sup>8杯<sup>えん</sup>で、<sup>えん</sup>3,200円も<sup>はら</sup>払わなければ<sup>なり</sup>ません。でも、  
「<sup>の</sup>飲み<sup>ほうだい</sup>放題」<sup>ねが</sup>で<sup>えん</sup>お願いしたら、<sup>えん</sup>1,500円<sup>す</sup>だけで<sup>の</sup>済<sup>ほうだい</sup>みます。「<sup>の</sup>飲み<sup>ほうだい</sup>放題」は、<sup>の</sup>ビール  
だけではなく、<sup>に</sup>いくつか<sup>の</sup>ワインや<sup>に</sup>日本酒、<sup>えら</sup>ジュース<sup>の</sup>なども<sup>えら</sup>選ぶ<sup>こ</sup>とができる<sup>の</sup>で、  
<sup>の</sup>飲<sup>み</sup>む<sup>こ</sup>とが<sup>す</sup>好きな<sup>ひと</sup>人<sup>の</sup>にとっては、<sup>と</sup>とても<sup>う</sup>れしい<sup>サ</sup>ービス<sup>デ</sup>ス。

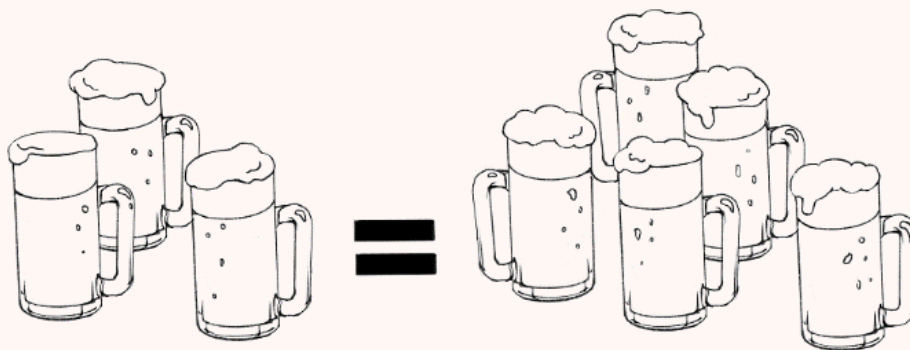
ところで、この「<sup>の</sup>飲み<sup>ほうだい</sup>放題」の<sup>みせ</sup>サービスは、<sup>の</sup>お店<sup>の</sup>にとっても、<sup>う</sup>れしい<sup>サ</sup>ービス<sup>デ</sup>ス<sup>な</sup>ので<sup>し</sup>ょうか。

<sup>いっばい</sup>1杯<sup>えん</sup>400円の<sup>げんか</sup>ビールの<sup>えん</sup>原価<sup>の</sup>は、<sup>げんか</sup>150円<sup>の</sup>くらい<sup>し</sup>ょうです。<sup>の</sup>原価<sup>の</sup>というのは、<sup>しょう</sup>商  
<sup>ひん</sup>品<sup>の</sup>をつくるための<sup>ざいりょう</sup>材料<sup>や</sup>、その<sup>しょうひん</sup>商品<sup>の</sup>をつくったり<sup>う</sup>売<sup>つ</sup>たりする<sup>ひと</sup>人の<sup>きゅうりょう</sup>給料<sup>な</sup>  
<sup>の</sup>どにか<sup>かね</sup>かる<sup>お</sup>金<sup>で</sup>す。<sup>いっばい</sup>1杯<sup>えん</sup>400円の<sup>えん</sup>ビールでは、<sup>えん</sup>150円<sup>げんか</sup>が<sup>えん</sup>原価<sup>で</sup>、<sup>えん</sup>250円<sup>いざか</sup>が<sup>や</sup>居酒屋  
<sup>りえき</sup>の<sup>えき</sup>利益<sup>に</sup>なります。もし、<sup>きやく</sup>お客<sup>さん</sup>が「<sup>たんびん</sup>単品」<sup>はいちゅうもん</sup>で、<sup>いざか</sup>3杯<sup>や</sup>注文<sup>した</sup>ら、<sup>いざか</sup>居酒屋

250円 × 3杯で、750円の利益を得ることができます。もし、お客さんが「飲み  
放題」で5杯注文したら、どうでしょう。お客さんが払うのは1,500円です。

5杯ぶんの原価は150円 × 5杯で750円です。だから、居酒屋は1,500円 - 750  
円で、750円の利益を得ることができます。つまり、「飲み放題」のお客さんが

5杯飲んだときの利益と、「単品」のお客さんが3杯だけ飲んだときの利益は同  
じになります。



単品

飲み放題

Sasaki Akino

もし、この居酒屋で、「飲み放題」をお願いして、ビールを10杯飲んだら、ど  
うでしょう。10杯ぶんの原価は1,500円になりますから、居酒屋の利益はなくな  
ってしまいます。でも、実際には、そんなにたくさん飲む人はあまりいないので  
(時々いますが)、居酒屋の利益がなくなることは、ほとんどないそうです。

さて、この話の最初に出てきた友だちはというと……。

ビールが大好きなので、2時間で10杯以上は飲みます。彼女にとっては「飲み放題」はとてもうれしいサービスですが、居酒屋さんにとっては彼女は「来てほしくないお客さん」かもしれません。

(1241字)

(2021.12 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Akino SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.